

編集後記

つい先日まで、厳しい寒さに身を震わせておりましたが、近ごろは寒さも和らぎ、関東ではここ数日4月下旬並みの穏やかな天気が続いております。春の到来もすぐそこまで来ているようです。

私事で恐縮ですが、少し前まで私の周りではインフルエンザに罹った人がかなりいました。私はインフルエンザにはかかりませんでした。1月末から一か月以上、喉の痛みに悩まされていました。近所のお医者さんに尋ねたところ、3つの異なるタイプの喉風邪に順番に罹ったとのこと。素人には同じ喉風邪でも専門家が診ると違うようで、正確な見立てと適切な処置のおかげで私の喉風邪も快方に向かいました。

さて、羽田空港の国際線が昨年10月に再開されました。国内線の基点である羽田空港に国際線が開通したことで、海外に行く方の利便性は大幅に向上することでしょう。また、国際線の基点である成田空港も利便性の向上や発着容量の改善に向けた方策を検討しているようです。諸外国との交流が益々重要になる我が国にとって、空港容量の拡大や利便性の向上は大きなテーマであり、

両空港が切磋琢磨しながらより良いサービスを目指すことは、一介の利用者に過ぎない私にとっても非常に喜ばしいことに思われます。と同時に、建設業に携わる者として、一介の利用者の立場からではなく、前述の医師のように専門家としての視点から今後の空港建設技術に関してじっくり考えることも重要なことだとあらためて認識した次第です。

今月号は「空港と港湾」を特集しました。経済のグローバル化が進み、人と物の移動がこれまで考えられなかったようなペースで増大しています。地域間の物流システムの基点となる空港や港湾の重要性は今後ますます大きくなっていくことでしょう。今回集まった報文は、まさにこのような時代背景の中で、最新の施工事例や装置についてまとめたものです。空港や港湾工事に限ったことではありませんが、建設工事においては、年々要求される内容が高度になっていく中、各方面で新しい技術や施工方法が生み出され、実績を上げつつあります。

最後になりましたが、ご多忙中にもかかわらず、快くご執筆を引き受けていただいた執筆者の方々から厚く御礼申し上げます。

(藤永・齋藤)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	今岡 亮司
加納研之助	桑垣 悦夫
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長代行

太田 宏 三井造船(株)

オブザーバ

山下 尚 国土交通省

編集委員

山田 淳	農林水産省
松岡 賢作	(独)鉄道・運輸機構
石戸谷 淳	首都高速道路(株)
高津 知司	本州四国連絡高速道路(株)
松本 久	(独)水資源機構
松本 敏雄	鹿島建設(株)
和田 一知	(株)KCM
安川 良博	(株)熊谷組
渥美 豊	コベルコ建機(株)
富樫 良一	コマツ
藤永友三郎	清水建設(株)
赤神 元英	日本国土開発(株)
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン(株)
星野 春夫	(株)竹中工務店
齋藤 琢	東亜建設工業(株)
相田 尚	(株)NIPPO
田岡 秀邦	日本道路(株)
堀田 正典	日立建機(株)
岡本 直樹	山崎建設(株)
中村 優一	(株)奥村組
石倉 武久	住友建機(株)
江本 平	範多機械(株)
京免 継彦	佐藤工業(株)
松澤 享	五洋建設(株)
藤島 崇	施工技術総合研究所

4月号「地下構造物特集」予告

- ・統合型地下構造 DB
- ・地下利用の将来展望
- ・わが国における地下利用の最新事例
- ・京極発電所地下空洞掘削における情報化施工
- ・営業線近接都市部における大規模地下駅構築工事の施工実績
- ・大断面4連アーチカルバートの工場生産方式による施工 第二京阪道路 打上工事・国守工事
- ・中央環状品川線大橋連結路開削部の施工
- ・葛西駅前機械式地下立体駐輪場におけるアーバンリング工法の適用
- ・重交通路線での低土被りによる推進工法
- ・大型構造物をニューマチックケーソン工法で沈設する 東尾久浄化センター主ポンプ棟建設工事
- ・ニューマチックケーソン工法による大規模地下貯留施設の施工

No.733「建設の施工企画」 2011年3月号

[定価] 1部840円(本体800円)
年間購読料9,000円

平成23年3月20日印刷

平成23年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 辻 靖三

印刷所 日本印刷株式会社

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話 (025) 280-0128
中部支	〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26	電話 (092) 436-3322

本誌上への広告は(株)共栄通信社までお問い合わせ下さい。

本社 〒105-0004 東京都港区新橋3-15-8(精工ビル5F) 電話 03-5472-1801 FAX03-5472-1802 E-MAIL: info@kyoeitushin.co.jp
担当 本社編集部 宗像 敏